



海と人、輝き満ちるまち。


TOBA

三重県 鳥羽市 市勢要覧 2014
Toba City Municipal Handbook 2014



市の花
はまなでしこ
The city flower
Dianthus japonicus



市の木
やまとたちばな
The city tree
Yamato mandarin orange



市の鳥
かもめ
The city bird
Sea gull

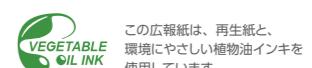


市章
The crest of
the city

姉妹都市 サンタバーバラ市(米国)
友好都市 兵庫県三田市

発行：鳥羽市
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号
TEL:0599-25-1103/FAX:0599-25-3111
<http://www.city.toba.mie.jp/>

Toba city Municipal Handbook 2014
Published by Toba City
3-1-1,Toba,Toba-City,Mie-Prefecture 517-0011
TEL:0599-25-1103/FAX:0599-25-3111
<http://www.city.toba.mie.jp/>



この広報紙は、再生紙と、
環境にやさしい植物油インキを
使用しています。

輝き満ちるまち。

古くから「泊まり場」と呼ばれ、多くの旅人を温かく迎え

もてなしの心を育んできた鳥羽市。

美しい海、その恩恵に彩られる海の幸、独自の自然や文化を残す4つの離島、今なお受け継がれる海女漁の文化。

この地が培ってきた魅力は、数えきれないほどにあります。

また、世界で初めて真珠養殖に成功した地としても知られています。

この輝きは、

美しい夕日とともに、



CONTENTS

三重県 鳥羽市 市勢要覧 2014
Toba City Municipal Handbook 2014

鳥羽市の魅力

きらり 海への想い	
蒼く輝く海は、まちの宝物	03
きらり 海と生きる	
海に寄り添う、人々の知恵	05
きらり 離島を知る	
固有の自然と文化、人々の絆	07
きらり 美食の歓び	
自然の恵みに育まれた逸品	11
きらり 魂を伝える	
歴史を誇る伝統文化 受け継がれる熱い心	13
きらり 歴史を訪ねる	
夢と希望をふくらませた偉人たち	15
きらり 鳥羽を巡る旅	
海辺のまち、輝く風景を探して	17

まちづくり

まちの未来像を語る	21
鳥羽のここがスキ！	22
定住・子育ての支援	23
教育・人材育成の推進	25
福祉・医療の充実	27
産業振興・雇用の確保	29
環境保全の対策	31
防災・減災の推進	33
TOBA GUIDE MAP	35
鳥羽市60年のあゆみ	37



海に寄り添う、人々の知恵

遠い昔から海とともに生きてきた鳥羽の人々。

真珠養殖に成功という世界初の快挙を成し遂げた御木本幸吉をはじめ、このまちで暮らす人々の心には、その恩恵を生かす知恵が受け継がれています。

海を愛し、 海と生きる。

山から湧き出た養分を含んだ水が海へと流れ込み、太平洋の海流と混ざり合うことで、豊かな漁場がつくられてきた鳥羽の海。魚介類の絶好の生息場所となる岩礁も多く、鳥羽は古来より豊富な海に恵まれ、朝廷や神宮に海産物を捧げることを許された「御食国」として知られてきました。

鳥羽のまちでは、たくさんの人々が海とともに生活を送っています。港では、刺網漁や一本釣り、底び

き網、海女による伝統的な素潜り漁など、多様な漁法によって捕獲された種類豊富な魚介類の水揚げ風景が見られます。そして、湾の入り組んだ地形を生かした漁港では、海苔やワカメ、牡蠣などの養殖が盛んに行われています。そこには漁師や海女たちなど、漁業を生業としている人々の活気に満ちた姿があふれています。各地域に受け継がれている祭りや伝統行事にも、海への信仰が息づくものが多く、漁村ならではの光景を

また、これらの四季折々の美しい風景と海の幸を生かした観光業なども、このまちの産業を支えています。

郷土の誇り 真珠王・御木本幸吉。



大切な海を守り育む

近年、伊勢湾の海域環境の変化から、稚魚が安心して育つための藻場の減少や干涸環境の悪化などが問題となっています。そこで、この豊かな海を守るために、人々は様々な活動を実施しています。

を植え、藻場の再生を行う取り組みです。この活動には漁業者のほか、地元の中学生が総合授業の一環として参加し、子どもたちが身近な環境問題を知り、漁業者と交流する機会にもつながっています。

その他にも、海岸に流れ着く漂着ゴミの清掃と、それを活用した流木アートをつくる活動など、様々な団体が海の環境問題に取り組んでいます。

きらり*鳥羽人

豊かな鳥羽の海は
本当にありがたい。

浦村で力キ養殖をしてい

空いた時期に、カキ殻を加工して固形物にしたケアシェルというものを利用した新しいアサリ養殖に取り組んでいます。

最近は、浜が酸性に傾いて全国的にもアサリが減少しているんですが、実はアサリがいなくなったのではなく、酸性化で稚貝が育っていないだけなんです。ですので、適度なアルカリ分を含むケーアエルを使って、アサリの育つ環境をつくり、アサリの養殖につなげています。

鳥羽の海はたくさんの魚介類を育ててくれますし、海に行けば何か仕事がある状態なので、本当にありがたいなあと常日頃から思っています。



また特産である牡蠣の殻を加工したケアシェルの開発により、浦村町では全国的にも珍しいアサ

また 特産である牡蠣の殻を加工したケアシェルの開発により、浦村町では全国的にも珍しいアサリの養殖に取り組んでいます。この新たな取り組みには、水質や土壌の改良効果も期待されています。このように鳥羽の人々は、古くから感謝と畏敬の念を抱きながら、とともに生きてきました。そして、今もその心は変わらずに受け継がれています。

Life with the Sea
Human Wisdom to Live in Harmony with the Sea

Here in Toba, we have lived in harmony with the sea since very early times. Kokichi Mikimoto, for instance, loved the sea of Toba so much that he ended up succeeding marvelously in pearl cultivation for the first time in the world. Just like him, people living in Toba have definitely inherited the wisdom to take advantage of the abundant gifts from nature.



鳥羽湾沖に浮かぶ4つの島。
かつて、その1つである神島を訪れた三島由紀夫は、川端康成に宛てた書簡で「ここには本当の人間の生活がありさうです。」と書いています。

それから60年余りが経過した今もなお、この島には独自の文化と自然景観が残され、島を訪れる人々をどこかノスタルジーな世界へと引き入れてくれます。

市営定期船を降りて、島へ一歩足を踏み入れると、潮風の香りが心地よく頬をなで、魚や海藻がいたるところに干され、網を縛る漁師や、日向ぼっこをしながら談笑するお年寄りの姿があります。

人々が密集し、迷路のような細い路地を歩けば、どこからか楽し気な話し声や、食事の支度をする音が聞こえきます。

島の人々の絆。

島では、祭りや風習を引き継いでいく中で、世代を超えた地域の絆が固く結ばれています。答志島に残る「寝屋子制度」は、

きらり * 鳥羽人

島の魅力はやっぱり人との触れ合いですね。

離島には、そこに住む人とのふれあいといいますか、何気ないおしゃべりであるとか、普段、島の人たちが食べている食事・生活・文化、そういうものに魅力があると思うんです。

また、島ごとに違う伝統や独特の文化がそのまま残っていたり、それぞれの集落で言葉や風習、顔つきが違ったり、触れ合うほど魅力は増していきます。お祭りも都会ではイベント化されますが、ここでは大漁祈願や漁業に携わる人の安全祈願など、祭事本来の意味合いが大切に受け継がれています。この昔と変わらないことを続けていくのが、ものすごく大事であり、それが離島の良さなんだと感じています。



interview

島の旅社 事務局長
山本 加奈子さん



これまでも、これからも。島の人々の絆が、島の魅力を伝えています。

2012年（平成24年）には鳥羽市と島の人々で、残していきたい島の魅力を「島遺産100選」として選定し、登録しました。この「島遺産100選」については、ガイドブックを作成し、地元への周知や市外へのPRに活用し、島の魅力を伝えています。

また、島の魅力を高め、発信していくため、各島の若者たちが集まり「島むすび会議」が結成され、それぞれの島自慢の食材を使ったおむすびの開発や、島のガイド研修など、島の魅力を発信する「島むすびプロジェクト」の取り組みが進められています。

何もかも純粹な島々。

鳥羽市は、4つの有人離島、神島・答志島・菅島・坂手島。

古くから海と向き合いながら、独自の文化を育んできたこの場所には、離島ならではのゆったりとした時間が流れ、訪れた人を懐かしい気持ちにさせてくれます。



神島
kamishima

人々の絆、固有の自然と文化、



Learning about the Islands of Toba
Nature, Culture and Human Bonding Unique to Toba

Toba has four inhabited islands, namely, Kamishima, Toshijima, Sugashima and Sakatejima. Their residents have lived by the sea and developed their own culture since ancient times. The slow-paced lifestyle and relaxing atmosphere of those islands will surely give you a feeling of nostalgia even on your first visit there.



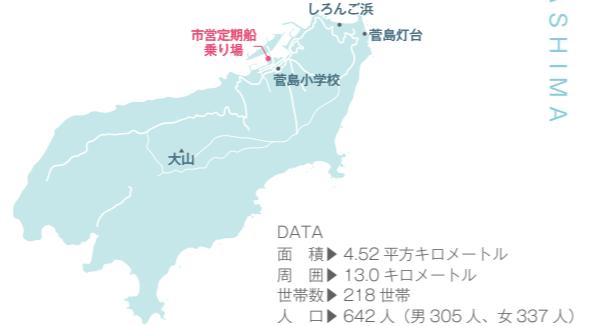
菅島灯台（日本の灯台50選）



島っ子ガイド



伊勢えびの開き干し



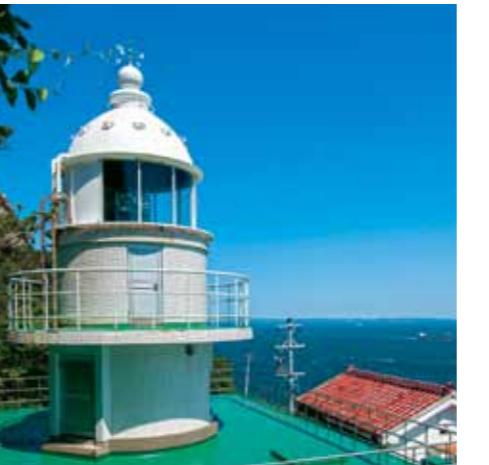
菅島

SUGASHIMA

雄大な自然美に憩える風の島

鳥羽港の東約3kmの沖合に浮かぶ菅島。標高237mの大山を中心に島全体が山地となつており、山頂からは本土や鳥羽湾に浮かぶ島々のほか、雄大な海景を望めます。また、真冬に山頂を真っ赤に染める紅ツゲの美しい紅葉も魅力的です。

漁港周辺ではワカメやアジなどの海藻や魚介を干す素朴な風景が見られ、潮風と日光の恵みによつて旨味を増す漁村ならではの干物文化が根付いています。島を一周する近畿自然歩道沿いには、伊勢志摩を代表する海女の祭り「しろんご祭」が催されるしろんご浜や、現存する日本最古の円形レンガ造りの菅島灯台などのスポットが点在。その他にも、菅島小学校の児童が島を案内する「島っ子ガイド」が、島の観光を盛り上げています。



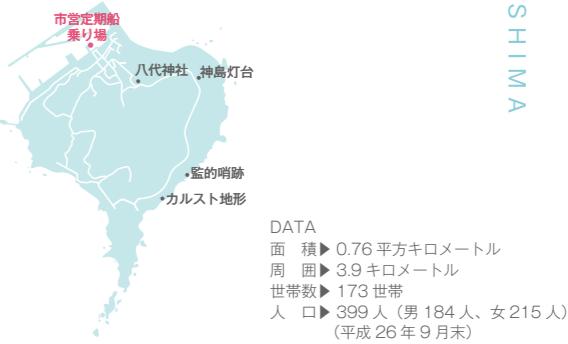
神島灯台（日本の灯台50選）



監的哨跡



カルスト地形



鳥羽港の北東約14kmの海上に浮かぶ神島。日本で唯一の渡りをする蝶であるアサギマダラや鷹の一種であるサンバが渡りに訪れるほか、長い年月をかけて石灰岩が風化してできたカルスト地形が広がるなど、固有の自然環境が残されています。

主な産業は漁業であり、伊良湖水道など潮流が速い漁場で育ったタコや鯛、伊勢えびなどは市場でも高い評価を得ています。作家・三島由紀夫が書いた小説「潮騒」の舞台としても知られ、島全体が恋人の聖地に登録されています。

その他、一年の家内安全や大漁を祈願する八代神社の祭礼であるゲーターフ祭は、県の无形民俗文化財に指定されています。



若宮神社

鳥羽港の対岸0.6kmの沖合に浮かぶ坂手島。伊勢の地に天照大神を祀つた皇女・倭姫命の伝説を記した「倭姫命世記」にも佐加太岐嶋として登場します。この島には、倭姫命が都から持つてきたアヤメを植えたと伝えられるアヤメ池が市の天然記念物となつており、初夏にはカキツバタが咲き誇り、島の風物詩となつています。

今は本土に勤める人が多いですが、かつては漁業が盛んで一本釣り漁で知られ、南部に集まる集落では、段々状に人々が連なる漁村特有の地形を見ることがあります。

また、江戸川乱歩の妻、村上隆の生家「村万商店」が残されており、集落の奥に佇む若宮神社の伝統行事「棒ねり」は市の無形民俗文化財に指定されています。

坂手島

SAKATEJIMA

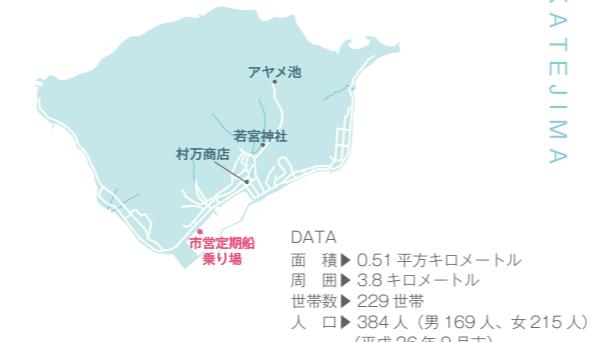
天照大神ゆかりの皇女も愛でた風光明媚な島



アヤメ池



村万商店（村上隆の生家）



塩蔵ワカメ作りの風景（かおり風景100選）



美多羅志神社の「龍神さん」



九鬼嘉隆の首塚

鳥羽港の北東約2.5kmの沖合に浮かぶ答志島。古代には志摩国答志郡の役所も置かれ、栄えていました。縄文時代から古墳時代の遺跡が点在し、戦国時代に活躍した武将・九鬼嘉隆の首塚と胴塚の史跡も残っています。

島の周囲は潮流が速く、外洋と伊勢湾を行き来する魚が絶えないことから、島人口の約8割が漁業に従事。答志・和具・桃取と3つある集落にはそれぞれに漁港や魚市場があり、冬に和具浦漁港で行われる塩蔵ワカメ作りの風景は、環境省が認定する「かおり風景100選」に選ばれています。

その他、海上安全や大漁を祈願する祭りや、一定年齢に達した男子数名を寝屋親が預かり世話をする「寝屋子制度」など、古くから伝統、慣習も色濃く受け継がれています。

鳥羽港の北東約2.5kmの沖合に浮かぶ答志島。古代には志摩国答志郡の役所も置かれ、栄えていました。縄文時代から古墳時代の遺跡が点在し、戦国時代に活躍した武将・九鬼嘉隆の首塚と胴塚の史跡も残っています。



答志島

TOSHIJIMA

豊かな海の幸と歴史ロマンに彩られた島

「潮騒」の舞台となつたネイチャーランド

鳥羽港の北東約14kmの海上に浮かぶ神島。

日本で唯一の渡りをする蝶であるアサギマダラや鷹の一種であるサンバが渡りに訪れるほか、長い年月をかけて石灰岩が風化してできたカルスト地形が広がるなど、固有の自然環境が残されています。

主な産業は漁業であり、伊良湖水道など潮流が速い漁場で育ったタコや鯛、伊勢えびなどは市場でも高い評価を得ています。作家・三島由紀夫が書いた小説「潮騒」の舞台としても知られ、島全体が恋人の聖地に登録されています。

その他、一年の家内安全や大漁を祈願する八代神社の祭礼であるゲーターフ祭は、県の无形民俗文化財に指定されています。

「潮騒」の舞台となつたネイチャーランド

鳥羽港の北東約14kmの海上に浮かぶ神島。

日本で唯一の渡りをする蝶であるアサギマダラや鷹の一種であるサンバが渡りに訪れるほか、長い年月をかけて石灰岩が風化してできたカルスト地形が広がるなど、固有の自然環境が残されています。

主な産業は漁業であり、伊良湖水道など潮流が速い漁場で育ったタコや鯛、伊勢えびなどは市場でも高い評価を得ています。作家・三島由紀夫が書いた小説「潮騒」の舞台としても知られ、島全体が恋人の聖地に登録されています。

その他、一年の家内安全や大漁を祈願する八代神社の祭礼であるゲーターフ祭は、県の无形民俗文化財に指定されています

しょくにん
鳥羽料理人弁当

鳥羽市観光協会が認定するお弁当。腕利きの料理人が、魚介類や海藻など鳥羽の新鮮な食材を贅沢に使った本格派弁当です。



タコめし



あおさ



めかぶ



タコ



のり

きらり * 鳥羽人

食材そのものの味を
楽しんでいただきたい。

鳥羽の魅力的などころは、伊勢えびやアワビなど、海の幸がすぐに手に入るところですね。その日の朝に水揚げされた魚介類が、朝のうちに私たち料理人のところに入って来るわけですから、お客様に本当に新鮮な食材が提供できるんです。

そのため私たち料理人も、食材を持つ旨味を引き出しつつ、本来の味が出やすい薄味で調理したものを提供できるよう常日頃から会合等を開いて勉強をしているんです。

一人ひとり違う味覚をもったお客様に対して、いかに満足していただける料理が提供できるかを課題に、これからも鳥羽でとれる旬の食材をお客様にお届けしていきます。



interview
鳥羽料理研究三重三科会 会長
まつうら まさかつ
松浦 貞勝さん



さめのたれ



ちりめん



干物



あなご



鳥羽弁当

鳥羽の豊富でおいしい食材を、海岸沿いのベンチや公園、帰路など、さまざまな場所でロケーションを選ばず、多くの方に味わってもらいたいとの思いから企画・開発されました。



祝いの席には欠かせない魚の王様「鯛」、伊勢神宮に神饌として献上される「鮑」、長寿の喜びのシンボル「伊勢えび」の三種を本市では「日本の祝い魚」と名付け、発信しています。



祝いの席には欠かせない魚の王様「鯛」、伊勢神宮に神饌として献上される「鮑」、長寿の喜びのシンボル「伊勢えび」の三種を本市では「日本の祝い魚」と名付け、発信しています。



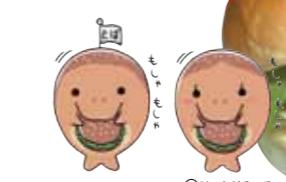
牡蠣



ウニ



とばーがー



とばーがー

地元の牡蠣やタコ、ちりめんじやこなど、地元の食材を使った鳥羽のご当地バーガー。地元で獲れた食材を使うこと、注文を受けてから販売すること、市内で販売することを条件に、認定店で提供されています。

育まれた逸品に 自然の恵みに

漁師や海女たちが、
恵み豊かな海から届けてくれる食材は、
工夫を凝らしたグルメも生み出されています。
鳥羽の食の魅力を発信するためには、
最上級のものばかり。

Delightful Delicacies
Natural Blessings Served as Our Specialties
Fishermen and ama divers of Toba deliver just exquisite seafood from the nutrient-rich sea of Toba. In addition, the appealing food culture of Toba has been advertised through the creation of a variety of ingenious gourmet foods.

秋



鳥羽魚魚まつり 10月

「魚」をテーマにした調理人とお客様をつなぐイベントです。地元の板前による魚の早さばき、海鮮汁や刺身の振る舞い、海鮮販売などが行われます。



二船まつり 11月

海士潜女神社の祭礼として行われる神事で、二隻の船に別れて速さを競い合い、その年の豊漁を占います。「万度迎え」「御船作り」「競漕神事」と三日間にわたり行われます。

真珠婚式（2月と12月を除く）
毎月30日

結婚30周年である「真珠婚」を、御木本幸吉が世界で初めて真珠養殖を成功させた鳥羽の地でお祝いするため、結婚30周年を迎えるご夫婦を対象に、市内ホテルのチャペルで真珠婚式を開催しています。

きらり＊鳥羽人

人生の節目のお祝いとして
真珠婚式を挙げました。

最初は「今さらウェディングドレスなんて」という気恥ずかしさがありました。今は式が挙げられて良かったなと思っています。チャペルでの合同結婚式でしたが、結婚して30年、夫婦お互いの気持ちを改めて見直すいいきっかけになりましたし、子どもたちが嬉しそうに式のお手伝いをしてくれて、本当に記念になりました。

真珠婚式の魅力は、何といっても気軽に参加できることですね。自前の服装でも参加できますし、事前に申請しておけばドレスも選べ、当日は美容師さんが髪をきちんとセットしてくれます。人生の節目のお祝いとして、皆さんにおすすめしたいです。



真珠婚の夫婦
松本智さん、明枝さん

冬

浦村牡蠣の國
まつり 2月

牡蠣養殖の本場である浦村町で、浦村牡蠣のPRを兼ねて開催されるイベント。美味しい浦村牡蠣を多くのかたに食べていただきたいという思いから開いています。

御船祭 2月



青峯山正福寺で行われる海上安全を祈願する祭り。境内には全国の漁業、海事関係者から奉納された大漁旗がはためき、多くの参拝者でにぎわいます。

ゲーター祭 1月

元旦の未明に神島の八代神社で行われる神事で、太陽をかたどったアワと呼ばれる白い輪を、島の男たちが竹で突き上げ落とし、諸悪を祓い、平穏無事な新年を願います。

しろんご祭 7月

菅島の守護神である白髭大明神を奉り、大漁・豊漁と海上安全を祈願する海女の祭り。海女たちがアワビの初採りを競い合います。

石神さん
春まつり 5月

「女性の願いなら一つは叶えてくれる」といわれる神明神社の石神さん。海女の大漁祈願と大願成就を願う祭りです。



鳥羽春まつり 4月

400年近く連綿と続く大山祇神社と賀多神社の祭礼。天狗と獅子の舞や能楽の奉納などで、鳥羽に春の訪れを告げます。

春



夏

赤崎祭り 6月

伊勢神宮・外宮の末社である赤崎神社の祭り。多くの参拝者が浴衣を着て参拝することから「ゆかた祭り」とも言われています。



相差天王くじら祭 7月

大小の鯨頭輿が相差音頭の手踊りとともに相差町内を練り歩いた後、海上に浮かべられます。夜には花火大会も行われます。



鳥羽みなとまつり 7月

讃岐金刀比羅宮鳥羽分社の祭り。鳥羽湾を中心に行われる夏の祭典でもあり、盛大な海上花火や海上パレードなど多彩なイベントが行われます。

歴史を誇る伝統文化
受け継がれる熱い心

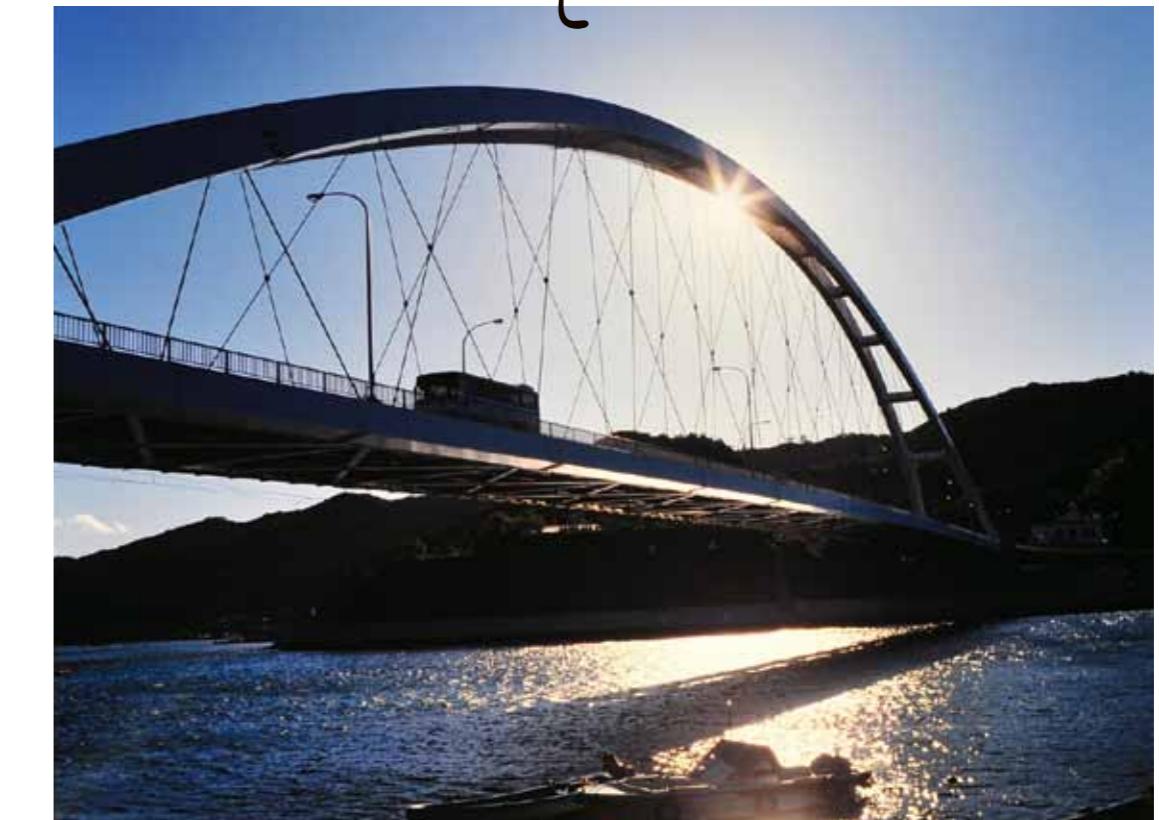
古くから海の神々への信仰が厚かつた鳥羽の地。新たなイベントも催されており、受け継がれてきた伝統行事のほか、多くの人々が盛り上がりを見せるなかで、しっかりと絆が育まれています。

Our Spiritual Inheritance
Our Traditional Culture with a Long History and Great Passion Inherited from Generation to Generation
Since olden days, Toba has been a place with people having profound faith in the deities of the sea. Not only traditional but also modern events take place, and many of the participants enjoy themselves and then strengthen bonds with one another.

鳥羽温泉郷
Toba-Onsen鳥羽マルシェ
Toba Marché (market and restaurant)カモメの散歩道
Kamome-no-Sampomichi Promenade干す風景
Dried seafood hung from poles三ツ島
Three islands called "Mitsushima"

国際観光文化都市であるとともに、市全体が伊勢志摩国立公園である鳥羽市には、訪れた人々を魅了するスポットが数多く点在しています。

輝く風景を探して

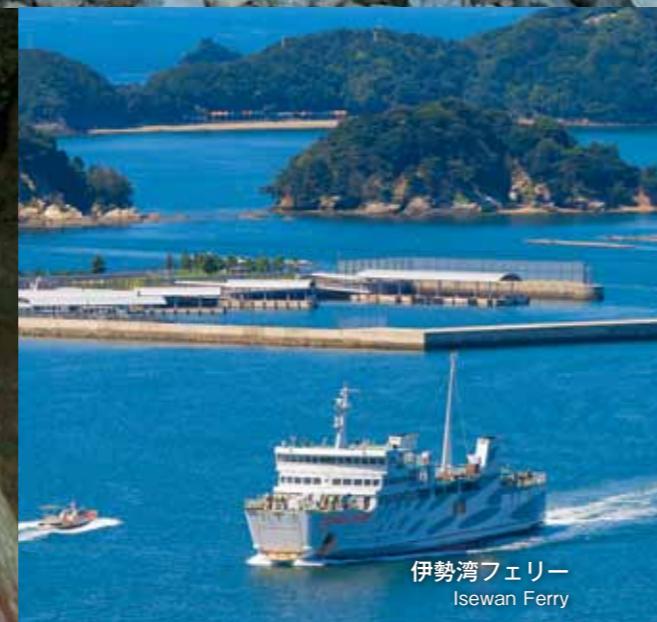
麻生の浦大橋
Great Onoura Bridge

Tours around Toba
In Search of Beautiful Spots at the Shining Sea
Not only is Toba an international tourist city with rich culture, but its whole area is also part of Ise-Shima National Park. That is why it has so many good tourist spots which attract visitors from other parts of Japan and the world.

きらり
鳥羽を巡る旅



ミキモト真珠島
Mikimoto Pearl Island



千鳥ヶ浜
Chidorigahama



イルカ島
Dolphin Island



鳥羽マリンターミナル
Toba Marine Terminal

小さくとも真珠のよう きらりと輝く鳥羽をを目指して

昭和29年11月1日に1町7村が合併し、平成26年で鳥羽市は市制施行60周年を迎えました。

三重県の東端部に位置する鳥羽市には、4つの有人離島やリアス式海岸がおりなす美しい景観とともに、歴史あるまちの人々の営みが息づいており、国際観光文化都市として毎年、多くの観光客の皆さんに楽しんでいただいております。

現在、鳥羽市では、第五次総合計画の将来都市像である「真珠のよう

鳥羽市長

木田 久主一

にきらり輝く鳥羽（まち）」の実現に向けた取り組みを進めています。

これからも、より多くの人々が訪れるまちづくりを目指し、地域と一緒にまちづくりを実現するため、今後ともお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

現在、鳥羽市では、第五次総合計

鳥羽のここが **スキ！**

まちで暮らす人々に、鳥羽の魅力を聞きました。

ふるさとへの愛がつまつた「スキ！」が、

これからもっと広がるように、未来に輝くまちづくりを進めています。

What the Future of Toba Will Be Like?
Work Together to Make Our City Shine Like Small but Resplendent Pearls.

For Toba City, the year 2014 is the 60th anniversary of its municipalization; its history started when one town and seven villages merged into a new city on November 1, 1954. Toba is located at the east end of Mie Prefecture and blessed with a long history, energetic people as well as beautiful nature including the four inhabited islands and rias.

We welcome a great number of tourists with our hospitality as an international tourist city with rich culture, and are now trying to "make our city shine more like pearls" in the future based on our Fifth Comprehensive City Plan.

In partnership with local communities, we will keep on working hard to attract more and more tourists from all over the world and give our residents a sense of pride as members of the city. We deeply appreciate your support and cooperation.

Kusuichi Kida
Mayor of Toba City



鳥羽市シティプロモーション



人口減少対策の一環として若者世代を応援する「子育て支援」や「定住促進」に関する施策や、観光振興、ふるさと納税など鳥羽市の特色ある施策について、市内外の人々に知っていただくため、様々な媒体を活用し、広報活動を行っています。

ふるさと納税

寄付をしていただいたかたへは、市内宿泊施設利用券や旬の海産物など鳥羽市ならではの贈答品を提供しています。



まちの声を聞く
TOBA'S SWITCH

とても役立つ ベビー向け講座

鳥羽市が開催している「とばっ子ハッピーセミナー」に参加して、子どもと一緒に楽しい時間を過ごしています。セミナーでは、子どもとの接し方や、日常の中で運動しながら子どもと遊べる様々な事が学べたり、同世代の子どもを持つお母さんとの交流をもてたりと、とても役に立っています。



とばっ子ハッピーセミナー事業
参加者 山本 絵美さん



輝くまちへ 若者の暮らしが

全国的に進む少子高齢化の問題に立ち向かうべく、鳥羽市では誰もが定住しやすい環境をつくるとともに次世代を担う子どもや若者たちの暮らしどもにまち全体で支援できる政策に取り組んでいます。

**若者と子育て家庭が
住み良い環境をめざして**
全国的に少子高齢化が進むなか、鳥羽市では次世代を担う若者たちが定住をしたいと思うまちになるよう、様々な取り組みを行っています。
若者をはじめとする市外への人口流出や婚姻率の低下が見られるため、若者の住宅や土地取得を支援し、出会いの機会を創出しています。
また、鳥羽市への移住希望者の受け入れ体制の整備を検討しています。
さらに、子育て家庭を地域で支えるため、休日保育などの保育サー



ビスマニューの充実や子育て支援センターの設置を行っています。
ほかにも、家庭児童相談員、児童心理士による総合子ども相談や発達巡回相談などを実施して、子育て家庭の住民が心身ともに健やかに成長していくけるよう取り組んでいます。

魅力あるまちづくりのために とばっ子の成長を 応援

市内各所で割引等のサービスが受けられるとばっ子カード、赤ちゃんの授乳関連用品や衛生用品・チャイルドシート等を購入する際に利用できるとばっ子子育て応援券を配布しています。



子育て家庭を支援

2人目以降の保育料の無料化や義務教育修了期間までの医療費の全額無料化、高校生の通学費・下宿費の助成など、安心して子育てできるよう経済的負担の軽減を図っています。



定住応援事業奨励金

次世代を担う若者たちが、安心して家を建て、住み続けることのできる魅力あるまちになるよう、新築住宅や中古住宅、市有地を購入した若者・若者夫婦を応援する取り組みとして、奨励金の交付を行っています。



Support for Stable Life and Child-raising in Toba.
Help Young Generations to Make Their Lives Shine.
We take measures to solve the problems caused by the falling birth rate and the aging population which Japan faces today by making a better environment for all residents in Toba and supporting the lives of children and young people for the future of theirs and the city.



「生きる」から「活ける」へ。
将来を担う人材を育成する「地球塾」



鳥羽市では高校生以上を対象に、世界の真珠王御木本幸吉翁が残した言葉（語録）をテーマに、郷土の未来を考える人材育成講座「地球塾」を開講しています。

多様化した社会情勢に対応し、地域特性を生かした創造的・独創的な地域づくりを推進するために、豊かな発想や広い視野をもった21世紀の郷土を担う人材とリーダーを育成するとともに、地域の中核となる人材のネットワークを構築することを目的としています。



「生きる」から「活ける」へ。



◆

御木本幸吉翁に学ぶ

まちの声を聞く
TOBA'S
SWITCH

生涯学習講座が
交流の場に

鳥羽市で開かれている「生涯学習講座」の陶芸やボリマーレイなど、自分の趣味や興味のある講座に参加させてもらっています。講座に参加して、一つひとつ的作品が出来上がりしていく楽しみや、趣味の世界や人の交流が広がっていく喜びなどを実感しています。



生涯学習講座受講生
石井 千恵子さん



生きる力を 育むまちへ

まちづくりの原動力となる子どもたちが安心して学習でき、健全な心と体が育つようまた、市民一人ひとりが楽しみながら暮らせるよう快適な環境づくりを進めています。

市民が積極的に活動する 地域社会を構築

子どもの豊かな心や生きる力を育むために、小中学校では学校・家庭・地域の連携を強化しながら、児童生徒の学習意欲を引き出せる環境・教材・備品の整備や、地域の声を積極的に取り入れた学校教育を推進しています。また、南海トラフ地震に備え、防災教育の充実とともに、子どもたちの安全性が確保された学習環境の整備に取り組んでいます。

このほか、市民一人ひとりの生き



がいづくりや健康・体力づくりのために、知識・技術の習得などを支援する生涯学習機会の提供、誰もが気軽に楽しみながら参加できるスポーツイベントやスポーツ教室の開催、運動施設等の改修、スポーツ指導者の育成などを進め、生活に潤いとゆとりを感じる社会を目指しています。

Promotion of Education and Human Resource Development
Give People the Skills to Live Well.

We promote our policies to create a more comfortable environment for all our citizens so that they can fully enjoy their lives and their children can learn and get physically and mentally trained without anxiety for the future of themselves and the city.

魅力あるまちづくりのために

市民大運動会



市民文化祭



子どもたちに 体験・学習の場を提供



親子凧作り教室や子どもフェスティバル、天体観測など、スポーツ・ゲーム・もの作りを通して、子どもたちが体験しながら楽しく学習できる場を提供しています。



へき地・離島の医療を支援



鳥羽市では、市街地から離れた場所にある地域や離島にも診療所を設置し、市民がいつでも安心して受診できる医療体制を整備しています。現在、本土に長岡診療所、鏡浦診療所、鏡浦診療所石鏡および今浦分室を、離島では神島、菅島、桃取、坂手町に診療所を開設し、県、関係機関等の協力のもと医師を確保し運営を行っています。

●三重県ドクターヘリの導入で救命率を向上
重症患者の救命率の向上や後遺症の軽減を図るために、三重大学医学部付属病院と伊勢赤十字病院の2病院を基地病院とし、高度な医療機器を装備したヘリコプターによる救急搬送を導入・運航しています。



まちの声を聞く
TOBA'S
SWITCH

外出する楽しみが
増えました

70歳以上の鳥羽市民に交付される
「いきいきお出かけ券」を活用してい
ます。私は、市内を走っている「かも
めバス」の回数券をいただきました。
おかげで小銭を用意する手間がはぶ
け、気軽に乗れるようになつたので、
出かける回数が増えました。この取り
組みは本当にありがとうございます。



いきいきお出かけ券利用者
三浦 利津子さん



鳥羽市のまちづくり
福祉・医療
の充実

活動に喜びを

市民一人ひとりが健康づくりに対する意識を高め
高齢者や障がい者が安心して暮らしていけるよう
公的サービスやボランティア支援を充実させ、
地域全体で支え合うまちを目指しています。

健康で生きがいに満ちた 暮らしづくりのために

鳥羽市では、市民が健康に暮ら
せるよう、健康相談の充実や特定
健康診査の受診率の向上、生活習
慣病予防及び疾病の予防・早期発
見につながる支援に積極的に取り
組んでいます。

魅力あるまちづくりのために



ウォーキングで 健康意識を啓発

市民の健康の維持・増進を図
るために、ウォーキングをサポー
トする事業の実施や、各地域で
ウォーキングに関するイベン
トを開催し、健康意識に対する
啓発を行っています。



高齢者の生活を支援

高齢者のかたたちが、住み慣
れた地域でいつまでも自分ら
しく自立した生活を過ごせる
ように、保健師・社会福祉士
などの専門職員を配置。様々
な面から総合的に支援してい
ます。



障がい者の活動を 支援

障がいがある人でも自立した
生活ができるまちにするため
に、気軽に相談できる支援体
制の充実や、障がい者が活動
できる場所・働く場所の確保
に取り組んでいます。

手段の確保などの充実した福祉サ
ービスや、地域包括支援センターを中
心とした高齢者見守り体制の強化を
進めています。

このように、市民一人ひとりが安
心して暮らせる社会を構築するため
に、市では保健・医療・福祉のネット
ワークを形
成し、隣近所、
世代間、地域間
など、様々な人
が共に助け合
えるまちづく
りを目指して
います。



Enhancement of Welfare and Medical Services
Make People Happy with the Spirit of Mutual Support.

We aim to improve the quality of public services and encourage volunteerism
for mutual support within the city in order that all our citizens will increase
their health awareness and the elderly and disabled can feel secure about
their daily lives.



地域資源の活用を支援

豊富な海の幸はもちろん、人々の営みや歴史文化といった地域資源を掘り起こし、磨きをかけて情報発信していくことで、まちの魅力の向上と個性の光る観光地づくりにつなげられるように取り組みを進めています。

●食の魅力を情報発信

新鮮な農水産物を加工し、地域にある背後ストーリーと絡めて商品化しようという動きが広がってきて



います。鳥羽らしい商品の開発と新たな販路の開拓は、雇用の創出と、地域の魅力の発信につながることが期待されます。

●新たな分野での可能性

海藻などの水産資源を「健康」「美」などの切り口での魅力づくりにつなげるため、旅館の女将さん達とともに海藻、真珠成分等を配合したオリジナル化粧品を開発しました。地域資源の新たな分野での利活用促進と観光地のおもてなし充実を目指しています。



まちの声を聞く
TOBA'S
SWITCH

食材
そのものの味を
楽しんでいただきたい。

鳥羽には季節折々の旬の食材があり、地元のかたも知らない美味しいものがたくさんあります。そんな地元で、とれた新鮮な食材の魅力や健康面での栄養価の情報を発信し、味わっていただけのが鳥羽マルシェです。訪れた皆さんに、鳥羽のおいしい食材を「お福分け」し、笑顔をお届けします。



魅力あるまちづくりのために



水産物の高付加化 価値化を推進

新たな漁業技術や生産手法を導入し、漁業種類の多角化や漁業生産の向上に取り組む漁業者グループの支援や、海藻の新規養殖技術を研究し、漁業者への普及定着を図ることにより、経営の安定化及び水産物の高付加価値化を目指す取り組みを行っています。

多くの若者が地元で働き、地域の担い手となることができるよう、市内でのインターネット・ショップ促進や雇用情報を入手しやすい環境の整備に努めています。

また、技能の向上にかかる各種講習等の開催支援や新たな創業に向けたセミナーの実施等、さらなるチャレンジを支援しています。

水産業においては、生産と加工、情報通信手段や物流・流通網の発達により、地方と都市部の格差が縮まり、ビジネスチャンスが拡大していることから、本市でも、地場産業の再興と新たな挑戦を支援しています。

多くの若者が地元で働き、地域の担い手となることができるよう、市内でのインターネット・ショップ促進や雇用情報を入手しやすい環境の整備に努めています。

また、農業では、農家が農業生産物の品質向上や生産拡大を図り、年間を通して出荷が行える体制を整備するため、支援を拡大しています。

また、農業では、農家が農業生産物



地元で仕事ができる 体制づくりを推進

地元での就業機会拡大のため、企業誘致を進めるとともに、地元の働き手を求める情報を容易に得られるよう、ハローワーク求人情報が閲覧できる拠点を整備しています。また、起業セミナーを実施し、新たな創業を支援しています。



「森と海・きずな事業」 を計画・実施

森林を整備し守ることにより、森林内の土壤に含まれる多くのミネラルが川を通じて海に流れ込み、海況環境の向上につながると考えています。間伐等による森林整備と森林資源の利活用に積極的に取り組んでいます。

Industrial Development and Employment Promotion
Make Our City More and More Attractive.

We offer information about workshops on the production and utilization of local products as well as on the know-how for starting a business and acquiring skills so that young generations can work happily with confidence and pride for the future of themselves and the city.

創るまちへ 新たな魅力を



鳥羽市のまちづくり
産業振興・雇用
の確保

美しい海を守る鳥羽清港会



市内の港湾や漁港、河川等の清掃・美化を図り、海水の汚濁防止等環境衛生の向上を目的に、市内外約60団体の会員が、毎年「海の日」の前に鳥羽港、佐田浜港、岩崎海岸、中之郷港、安久志海岸を中心に清掃活動を実施しています。

清掃内容は、陸上での清掃作業のほか、ダイバーによる潜水清掃作業も行われ、いつまでも美しい海を守っていく活動に取り組んでいます。



まちの声を聞く
TOBA'S
SWITCH

環境パトロールで
きれいな町に

鳥羽はたくさんの観光客が訪れる
自然豊かな町です。訪れたかたがこ
のまちの美しさを感じ、気持ちよく
散策できるよう、また、不法に投棄
されたごみや流木などの漂流漂着ご
みが原因で、きれいな海が汚れない
よう「環境パトロール」をしっかりと
行っています。



鳥羽市シルバー人材センター
理事 藤原 稔次さん



魅力あるまちづくりのために



資源のリサイクル化を推進

ごみの減量化や資源化を進める環境啓発拠点施設「リサイクルパーク」を開設し、家庭から出るリサイクルごみの受け入れ、不要品のリユースショップでの販売、生ごみを堆肥化する取り組みを行っています。



公共水域の水質汚濁を防止

自然に大きな負担がかかる、家庭からの生活排水の流出を防ぐ合併処理浄化槽の設置を進めるため、設置費用の一部補助をし、普及啓発活動を行っています。



新エネルギーの導入を促進

地球環境を守るために新エネルギーの普及促進に努め、その一環として、市内の個人住宅への太陽光発電システムの設置費用の補助を行っています。

美しい海や自然環境を守り 魅力ある風土を形成

現在、大きな環境問題の一つとなっている地球温暖化を防止するため、鳥羽市では公共交通機関の利用や太陽光発電などの新エネルギーの利用など、温室効果ガスの排出を抑制する取り組みを積極的に推進しています。

また、鳥羽市は豊かな海洋資源の恩恵を受けて発展してきたことからも、市民の「海」への思いは強く、河川や海洋の水環境を保全するため、生活排水対策として合併処理浄

化槽の設置を促進するほか、漂流・漂着ごみの撲滅に向けた清掃活動をボランティア団体とともにを行い、環境にやさしいまちづくりを目指しています。

さらに、快適な生活環境を確保するため、家庭から出る可燃ごみの大半を占める生ごみの堆肥化や、リサイクル活動の拠点施設、一般廃棄物の処理施設を整備するなど、適正なごみ処理とごみの減量化にも取り組んでいます。

環境破壊や地球温暖化を阻止するため、環境にやさしい新エネルギーの普及活動や資源循環型社会をつくる取り組みなどに力を入れ、自然と調和した暮らしが広がるまちの実現を目指しています。

自然と共生し 輝くまちへ



Environmental Protection Measures
Make Our City Shine through Coexistence with Nature.
In order to prevent further environmental degradation and global warming, we work hard to promote the use of eco-friendly energy and then achieve a recycling society where coexistence with nature is more possible.



津波だ！みんな逃げよう宣言



未曾有の被害をもたらした東日本大震災の大津波ですが、伊勢湾沿岸部に位置し、津波被害が拡大するリアス式海岸を有する鳥羽市も南海トラフ地震による大津波の襲来が危惧されています。しかし、津波に対して「すぐ逃げる」意識と行動は、市民に広く定着しているとは言い難いのが現状です。

こうした状況の中、津波発生時に避難する意識を広めるため「津波だ！みんな逃げよう宣言」を平成23年6月27日に制定。宣言に盛り込まれた、津波発生時に高台に逃げる意識を実際の行動に移すために「津波防災の日」である11月5日の周辺に日を定めて、全市民を対象とした市内一斉津波避難訓練を実施するなどの活動を行っています。



まちの声を聞く
TOBA'S
SWITCH

地域を守る 防災対策

自主防災会で市の事業を活用し、防災対策に取り組んでいます。防災マップの作成のほか、子どもたちやお年寄り、障がいを持つかたに配慮した避難路の整備や、要援護者台帳の管理などを行っています。相差は観光客のかたも多い地域なので、これからも様々な取り組みを充実させていきたいですね。



相差町自主防災会長
なかひら ゆきとる
中村 幸照さん



市民や観光客向けの 防災対策

災害発生時に市民や観光客の安全を守るため、避難誘導看板や誘導シール等を市内各所に掲示するほか、防災情報のメール配信、防災ラジオの有償配布などを行っています。



災害時相互応援協定 を締結

甚大な被害が発生した場合に、被災者の救難や救護などを迅速に行えるよう、同時に被災する可能性が低い長野県大町市、長野県飯島町、岐阜県美濃市、兵庫県三田市などの山間部の市町と「災害時相互応援協定」を締結しています。

魅力あるまちづくりのために



津波避難路等の整備

大地震に伴い発生する津波から身を守り、被害を最小限にとどめるために、町内会や自治会が実施する津波避難路や備蓄品の整備に対し補助金を交付し、積極的な災害予防対策を推進しています。

鳥羽市は地形上、急傾斜地が多く、沿岸部に施設や民家が集中していることから、南海トラフ地震や、台風、集中豪雨等による甚大な被害が危惧されています。そのような中、市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進めるために、津波避難場所・避難所の見直しやハザードマップの作成、公共施設や民間木造住宅の耐震診断・耐震補強の実施、衛星

携帯電話の整備などによる情報伝達手段の充実を行っています。また、市内各地で自主防災組織を結成しているが、地域住民の連帯意識の希薄化や高齢化などの課題もあります。このことから、防災講演会や出前とーく、防災タウンウォッキングを通した市民の防災意識の啓発により「自助」「共助」の活動の推進を図り、市民・事業者・関係機関・行政が連携しながら、地域や組織の防災活動に取り組んでいくことで、安全・安心なまちづくりを目指しています。

大規模な災害による被害を最小限に抑え市民のかけがえのない生命と財産を守るために様々な災害対策の取り組みを行い地域の防災意識の向上を図っています。

災害に強い 住み良いまちへ



鳥羽市のまちづくり
防災・減災
の推進



Promotion of Disaster Prevention and Reduction
Create a Disaster-resistant Community Where People Can Live More Safely.

We are responsible for minimizing damage by wide-scale disasters to protect the precious lives and properties of our citizens. Therefore, we take various countermeasures against natural disasters to raise awareness of disaster prevention among our citizens.



交通アクセス

鳥羽市へ

- 車・フェリーを利用
東京一浜松I.C一伊良湖一鳥羽
伊良湖、鳥羽（ヨーハ、約55分）

- 列車を利用
東京—名古屋（新幹線 / 1時間40分）
名古屋—鳥羽（近鉄・JR / 1時間30分）
大阪—鳥羽（近鉄 / 2時間）
京都—鳥羽（近鉄 / 2時間25分）

離島へ

- 市営定期船を利用
鳥羽一坂手（約 10 分）
鳥羽一菅島（約 15 分）
鳥羽一桃取（約 12 分）
鳥羽一答志和具（約 20 分）
鳥羽一答志（約 25 分）
鳥羽一神島（約 35 分）
(経由便の場合は異なります)

市内へ

- 公共バス（かもめバス）を利用
鳥羽一小浜（約5分）
鳥羽一安楽島（約23分）
鳥羽一松尾（約31分）
鳥羽一本浦（約34分）
鳥羽一石鏡（約43分）
鳥羽一相差（約50分）
鳥羽一国崎（約58分）





1954 (昭和29)	11月 市制施行、市章決定、第1回市議会開会	12月 中村幸吉氏初代市長に当選	4月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる	4月 市長任命による初の教育委員会委員の選任	4月 本浦、今浦、石鏡小学校を統合し鏡浦小学校を創立、鏡浦小学校開校
1955 (昭和30)	11月 松尾ゴミ処理場破砕機完成	12月 神島開発総合センター完成	4月 市中央公園野球場ナイター施設完成	4月 鳥羽・桃取・菅島中学校を統合し島羽東中学校を開校	4月 鳥羽・桃取・菅島中学校を統合し島羽東中学校を開校
1956 (昭和31)	1月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる	1月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる	4月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる	4月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる	4月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる
1957 (昭和32)	9月 鏡浦小学校開校	9月 鏡浦小学校開校	4月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる	4月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる	4月 市議会議員選挙（各地区選出の大選挙区制）決まる
1958 (昭和33)	1月 伊勢湾台風襲来	1月 伊勢湾台風襲来	4月 選舉管理委員会事務局を置く	4月 選舉管理委員会事務局を置く	4月 選舉管理委員会事務局を置く
1959 (昭和34)	1月 加茂干拓潮止め完了	1月 加茂干拓潮止め完了	4月 選舉委員会を開催	4月 選舉委員会を開催	4月 選舉委員会を開催
1960 (昭和35)	1月 イギリスのアレキサン德拉王女ご来島	1月 イギリスのアレキサン德拉王女ご来島	5月 中之郷海岸道路完成	5月 中之郷海岸道路完成	5月 中之郷海岸道路完成
1961 (昭和36)	1月 天皇・皇后両陛下ご来島	1月 天皇・皇后両陛下ご来島	8月 第1回鳥羽バーレー大会開催	8月 第1回鳥羽バーレー大会開催	8月 第1回鳥羽バーレー大会開催
1962 (昭和37)	1月 新市庁舎完成	1月 新市庁舎完成	10月 市消防本部開設	10月 市消防本部開設	10月 市消防本部開設
1963 (昭和38)	1月 安楽島橋完成	1月 安楽島橋完成	11月 市議会議員選挙（衛生都市）宣言	11月 市議会議員選挙（衛生都市）宣言	11月 市議会議員選挙（衛生都市）宣言
1964 (昭和39)	1月 「交通安全都市」宣言				
1965 (昭和40)	1月 「交通安全部市」宣言				
1966 (昭和41)	1月 「市水産研究所開設」				
1967 (昭和42)	1月 「市保健相談所開設」				
1968 (昭和43)	1月 「市産業振興部開設」				
1969 (昭和44)	1月 「市の象徴制定木・花」				
1970 (昭和45)	1月 城山児童公園完成				
1971 (昭和46)	1月 故中村幸吉氏名譽市民に				
1972 (昭和47)	1月 小田嶋修三氏名譽市民に				
1973 (昭和48)	1月 故御木本幸吉翁初代名誉市民に				
1974 (昭和49)	1月 今浦地区上水道完成				
1975 (昭和50)	1月 天皇・皇后両陛下ご来島				
1976 (昭和51)	1月 エリザベス女王ご来島				
1977 (昭和52)	6月 第27回全日本フエンシング選手権大会開催				
1978 (昭和53)	6月 菅島簡易水道海底送水管完成				
1979 (昭和54)	10月 第30回国民体育大会、フエンシング・相撲競技開催				
1980 (昭和55)	9月 高丘町誕生				
1981 (昭和56)	6月 答志・桃取町電話自動化				
1982 (昭和57)	6月 スリランカ共和国首相来島				
1983 (昭和58)	9月 休日診療所開設				
1984 (昭和59)	10月 国際観光文化都市に指定				
1985 (昭和60)	1月 市学校給食中央共同調理場完成				
1986 (昭和61)	1月 市学校給食中央共同調理場完成				
1987 (昭和62)	1月 救急医療情報システムを開始				
1988 (昭和63)	1月 救急医療情報システムを開始				
1989 (昭和64)	1月 救急医療情報システムを開始				
1990 (昭和65)	1月 救急医療情報システムを開始				
1991 (昭和66)	1月 救急医療情報システムを開始				
1992 (昭和67)	1月 救急医療情報システムを開始				
1993 (昭和68)	1月 救急医療情報システムを開始				
1994 (昭和69)	1月 救急医療情報システムを開始				
1995 (昭和70)	1月 救急医療情報システムを開始				
1996 (昭和71)	1月 救急医療情報システムを開始				
1997 (昭和72)	1月 救急医療情報システムを開始				
1998 (昭和73)	1月 救急医療情報システムを開始				
1999 (昭和74)	1月 救急医療情報システムを開始				
2000 (昭和75)	1月 救急医療情報システムを開始				
2001 (昭和76)	1月 救急医療情報システムを開始				
2002 (昭和77)	1月 救急医療情報システムを開始				
2003 (昭和78)	1月 救急医療情報システムを開始				
2004 (昭和79)	1月 救急医療情報システムを開始				
2005 (昭和80)	1月 救急医療情報システムを開始				
2006 (昭和81)	1月 救急医療情報システムを開始				
2007 (昭和82)	1月 救急医療情報システムを開始				
2008 (昭和83)	1月 救急医療情報システムを開始				
2009 (昭和84)	1月 救急医療情報システムを開始				
2010 (昭和85)	1月 救急医療情報システムを開始				
2011 (昭和86)	1月 救急医療情報システムを開始				
2012 (昭和87)	1月 救急医療情報システムを開始				
2013 (昭和88)	1月 救急医療情報システムを開始				
2014 (昭和89)	1月 救急医療情報システムを開始				
2015 (昭和90)	1月 救急医療情報システムを開始				
2016 (昭和91)	1月 救急医療情報システムを開始				
2017 (昭和92)	1月 救急医療情報システムを開始				
2018 (昭和93)	1月 救急医療情報システムを開始				
2019 (昭和94)	1月 救急医療情報システムを開始				
2020 (昭和95)	1月 救急医療情報システムを開始				



鳥羽市 60 年のあゆみ

1954-2014 TOBA'S History

10月 第25回世界バラショーティング世界選手権伊勢志摩大会

10月 みえスカイフェスティバル開催

10月 真珠フェスティバル開催

10月 神島簡易水道海底送